

令和 7 年度の試験研究に向け試験設計検討会を開催

当センターでは、畜産を取り巻く課題の解決につながる技術開発や試験研究を行っており、令和 7 年度は新たに 2 つの研究課題「鰹節搾りかすの鶏用飼料としての活用」及び「地域の特色を活かした簡便なアンモニア回収技術による鶏糞堆肥化における臭気軽減手法の検討」に取り組む予定です。

3 月 17 日には試験設計検討会を開催し、この 2 課題と昨年度から実施している「稲 WCS 多給及び分娩前栄養水準制限を組合せた高品質乳の生産技術の確立」の計 3 課題の研究計画について、参加者が行政、普及、研究それぞれの立場から協議しました。

参加者から出された「鰹節搾りかすを飼料用に加工して保存する間に成分が変化するのではないか」といった意見を受けて成分分析を試験設計書の項目に追加するなど、この検討会で出された意見を各研究計画に反映させていきます。

当センターでは、畜産の現場に有用な成果を示せるよう、令和 7 年度も試験研究を進めていきます。



検討会での協議

畜産センター